第 10 回アリーナ整備検討会議　次第

日時：令和８年１０月１９日（月）１１時００分～
場所：岡山市役所本庁舎　３階　第三会議室

１　開　　会

２　あいさつ　　座　長　　大森　雅夫
副座長　　松田　久
顧　問　　田口　裕士

３　内　　容　（１）実施方針（案）及び要求水準書（案）の公表について
（２）寄附の状況及び機運醸成の取組について
（３）その他

４　閉　　会

配付資料　資料１　実施方針（案）及び要求水準書（案）の公表について
資料２　マーケットサウンディングでのご意見
資料３　寄附の状況について
資料４　機運醸成の取組について

別冊資料　別冊１　実施方針（案）
別冊２　要求水準書（案）
別冊３　要求水準書別紙資料

アリーナ整備検討会議メンバー

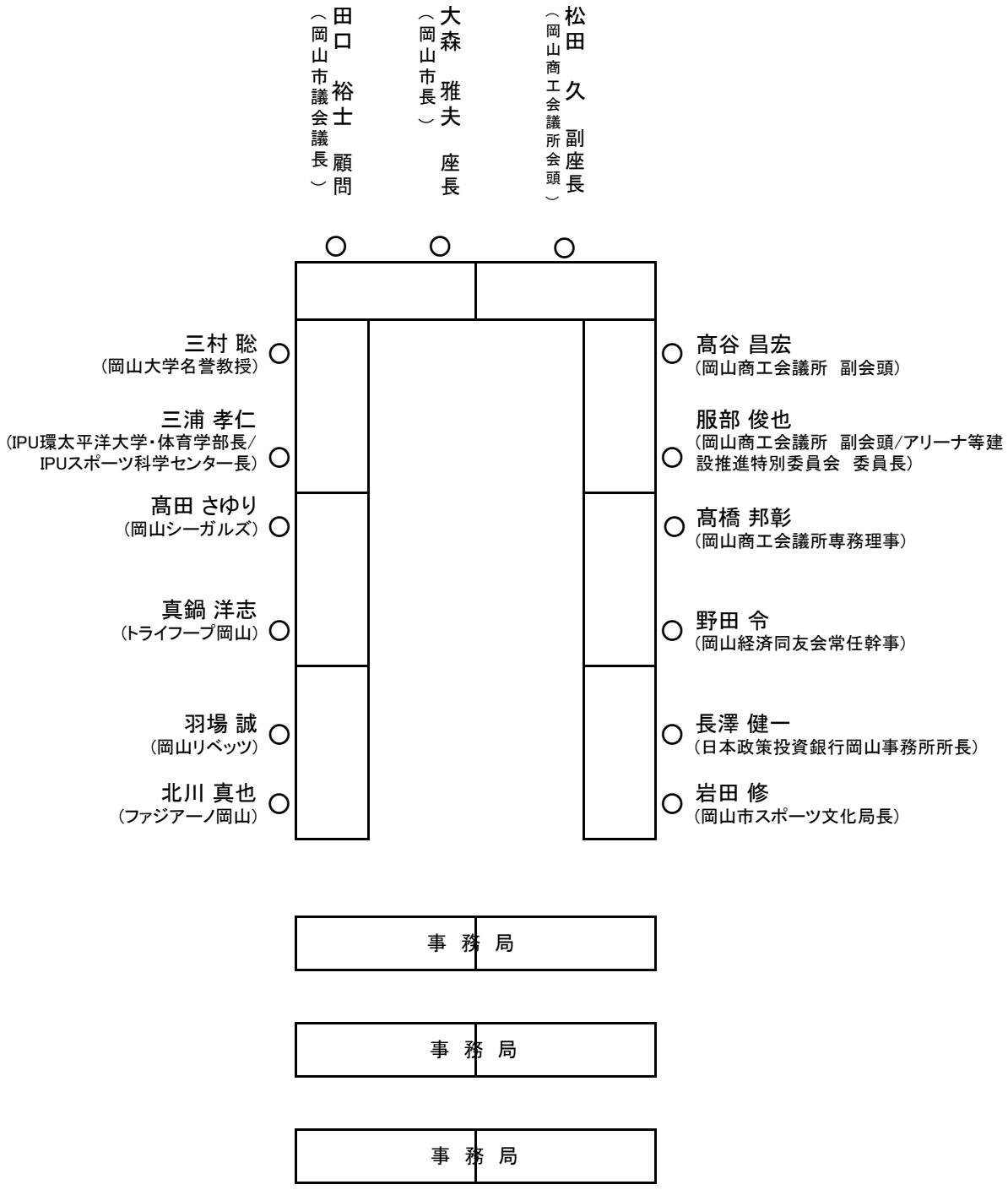
氏　名	所属及び役職名	摘要
大森 雅夫	岡山市長	座長
松田　久	岡山商工会議所 会頭	副座長
田口 裕士	岡山市議会議長	顧問
髙谷 昌宏	岡山商工会議所 副会頭	
服部 俊也	岡山商工会議所 副会頭／アリーナ等建設推進特別委員会 委員長	
髙橋 邦彰	岡山商工会議所 専務理事	
野田 令	一般社団法人岡山経済同友会 常任幹事	
長澤 健一	株式会社日本政策投資銀行 岡山事務所所長	
岩田 修	岡山市スポーツ文化局長	
三村 聡	岡山大学名誉教授	
三浦 孝仁	IPU 環太平洋大学・体育学部長／IPU スポーツ科学センター長	
林 恒宏	岡山理科大学・経営学部長／大学院マネジメント研究科長	
松井 守	公益財団法人岡山県スポーツ協会 副会長兼専務理事	
髙田 さゆり	岡山シーガルズ（岡山シーガルズ株式会社　代表取締役社長）	
真鍋　洋志	トライフープ岡山（株式会社ＴＲＹＨＯＯＰ　代表取締役社長）	
羽場 誠	岡山リベッツ（株式会社岡山リベッツ　代表取締役）	
北川 真也	ファジアーノ岡山（株式会社ﾌｧｼﾞｱｰﾉ岡山ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ　代表取締役会長）	

※令和８年１０月１９日時点

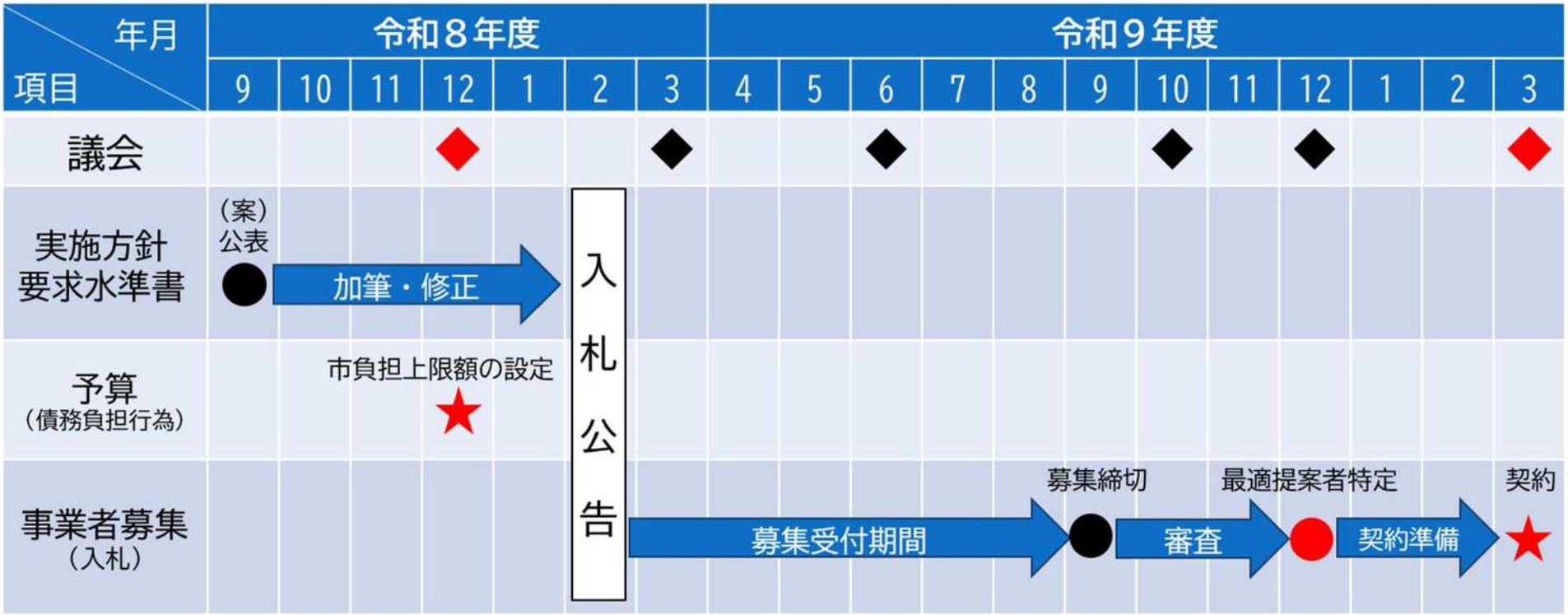
第10回アリーナ整備検討会議　配席表

令和8年10月19日（月）11:00～12:00

市役所本庁舎3階　第三会議室



事業者選定スケジュール



実施方針

〇PFI事業としてアリーナ整備運営事業を実施する予定であることやその事業の基本的な方針をまとめたもの
〇住民や民間事業者に対する事前の周知を目的とする
（事業の範囲等の事業に関する事項、事業者の募集及び選定に関する事項など法律に定められた項目を記載）

要求水準書

〇サービス内容、機能や性能、品質水準、運営条件など本市が求める最低限の条件を示したもの
（総則的な内容、それぞれの段階における基本的な考え方や詳細な条件等について記載）

アリーナ整備において目指す効果

アリーナを整備することにより・・・

〇トップチームが岡山の地でこれからもプレーを継続していくことができる

〇ライブ・コンサートやMICEなど、これまでできなかった大規模なイベントの開催もできる

〇アマチュアスポーツにおいても、より一層の大規模大会の誘致が期待できる

市内外に多くの**経済効果**をもたらすとともに
金額には表すことのできない**心の豊かさ**や**岡山への愛着や誇り**を生み出す

～わくわくする日常を創り出すアリーナ～






実施方針（案）・要求水準書（案）のポイント

～わくわくする日常を創り出すアリーナ～

1　トップリーグの試合・コンサート等の興行の開催　～”観る・魅せる”アリーナ～

- トップリーグの施設基準への対応
- 大規模コンサートや展示会等を呼び込む施設として、興行対応機能を強化
- 最大収容者数10,000人程度（コンサート利用時、スポーツ興行時8,000席以上）
- 周辺の住環境に支障とならない防音、防振等への配慮



2　独立採算による運営業務の実施　～PFI（BT＋コンセッション方式）による運営～

- 設計・建設・維持管理・運営を一括発注とし、維持管理・運営にはコンセッション方式を導入
- 利用料金、ネーミングライツ等を事業者収入とし、維持管理・運営は事業者による独立採算
- 事業者が運営権の対価を市へ支払うことにより、市は設計・建設費を削減可能
- 飲食・物販等の事業や施設等への追加投資を可能とし、民間の創意工夫を引き出す
- 利益が想定を一定程度上回る場合には、市へ還元（プロフィットシェア）



先行事例のイメージ（IGアリーナ）

3　観戦等の質を高めるホスピタリティ等　～ここでしか得られない非日常体験～

- 良質な座席や、個室付き観客席等、全ての来場者が楽しめる快適な観覧環境の実現
- センタービジョン、リボンビジョン等を備え、非日常の観戦体験を演出
- 飲食・物販スペース、混雑時の滞留空間、男女比の変動に対応できるトイレ等を配置



先行事例のイメージ（IGアリーナ）

4　地域を支える防災機能　～地域の防災機能の更なる強化を担う”頼れる”アリーナ～

- 災害時には、一時避難場所として使用し、帰宅困難者の受入れを想定
- 個室付き観客席、諸室については、要配慮者の避難場所として活用
- 車両乗入れ可能なアリーナを物資搬出入の広域拠点として活用
- 北長瀬エリアだけでなく、市全体の防災機能の向上を図る



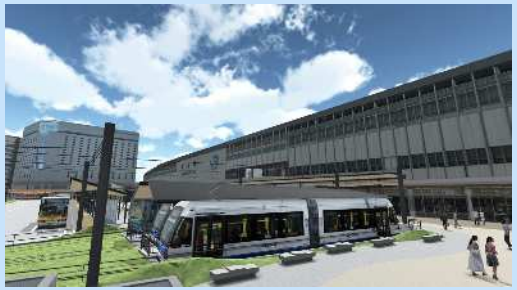
5　北長瀬エリアにおける面的なまちづくり　～”エリアの起爆剤”となるアリーナ～

- 北長瀬未来ふれあい総合公園や周辺の商業施設等との連携により、各施設の価値を高める
- アリーナを契機として、エリア全体への賑わいの波及を目指す



6　“岡山ならでは”のアリーナの実現　～中四国の顔として”選ばれる”アリーナ～

- 岡山の強みを活かした“岡山ならでは”のアリーナ



【岡山駅路面電車乗入事業】



【造山古墳】



【岡山城】



【岡山のフルーツ】

PFI（BT＋コンセッション方式）とは

※岡山市では初採用の事業方式

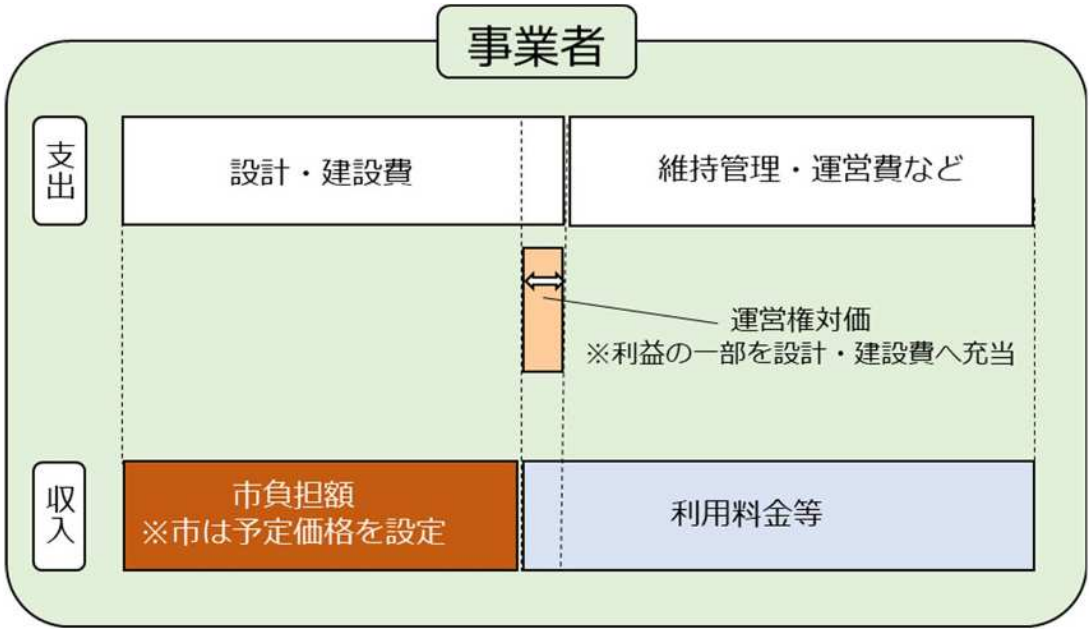
○設計・建設を事業者が行い、完成後、市に施設の所有権を移転 【Build（建てる）-Transfer（所有権を移転する）】

○所有権を市に移転後、施設の運営権を事業者に付与 【コンセッション】

【ポイント】

- ◆ 設計・建設・維持管理・運営を一括発注とすることで、運営を見据えた建設が可能
- ◆ 飲食・物販等の事業や施設等への追加投資を可能とし、民間の創意工夫を引き出す
- ◆ 事業者の利益の一部（運営権対価）を事前に設計・建設費に充当することにより、市負担額の軽減
- ◆ 利益が想定を一定程度上回る場合には、市へ還元（プロフィットシェア）

【事業費の考え方】



マーケットサウンディングでのご意見

資料2

現時点での事業計画

【事業敷地】



【施設規模】

機 能	諸室概要	面 積	摘 要
競技機能	メインアリーナ	約3,000㎡	
	サブアリーナ	約1,600㎡	※客席400席
	更衣室、倉庫等	約1,500㎡	※更衣室:4室
観覧機能	客席	約4,000㎡	
	トイレ、授乳室、 飲食物等の販売スペース等	約2,600㎡	※トイレ機器数:客席数×5%
	エントランスホール、コンコース	約3,000㎡	
ホスピタリティ機能	個室付き観客席、ラウンジ	約1,000㎡	
運営機能	運営管理室、控室、医務室等	約1,000㎡	
メディア機能	記者会見室、メディアルーム等	約500㎡	
施設管理機能	管理事務室、機械室等	約1,500㎡	
その他機能	共用部(通路・階段等)	約6,000㎡	
施設面積(延べ面積)		約25,700㎡	≒26,000㎡

【概算事業費】

大項目	中項目	概算費用(税込)	備 考
アリーナ	本体工事①	218億円	
その他	調査・設計等②	10億円	※測量・地質調査・工事監理費等
	外構工事・太陽光発電等③	10億円	
	備品調達④	22億円	※スポーツ用備品・映像設備費等・各種備品
アリーナ整備費⑤ (①~④)		260億円	
周辺整備	道路・インフラ改修等⑥	15~20億円	※周辺道路改修等
アリーナ整備に係る概算事業費 (⑤+⑥)		275~280億円	

※アリーナの建設工事費は、令和6年7月時点の建設単価を参照。

マーケットサウンディングでのご意見

資料2

✓多くの事業者が、事業敷地及び事業費について言及

事業者からの主な意見

【施設について】

●最低でも8,000席以上を確保することが望ましい

●選ばれる施設とするためには、施設の使い勝手や魅力度を高めていくことが重要

【事業敷地について】

●サブアリーナ併設で1万人収容となると、現計画では窮屈

●敷地面積も限られるため施工ヤードが狭い

●搬入などのバックヤードスペースが取れない

●限られた敷地で収めるためには、必要以上の相当なコストが必要

●事業範囲は可能な限り最大限確保できることが望ましい

●第2駐車場も事業敷地に含めないと厳しい

【概算事業費について】

●全体的に高騰しており、増額しなければ大変厳しい

●物価補正だけでなく相当な見直しが必要と見立てている

●2025年11月時点の価格での施工は、非常に厳しい

資料3

アリーナ整備に係る寄附の状況について

寄附内諾額

令和8年10月15日時点

合計額：30億9,415万円

- 内　諾：136件 ※受入済分も含みます。
- 検討中：230件
- 不　可：　40件

受入済額

令和7年12月18日～令和8年9月30日

合計額：3億6,557万円　(千円以下切り捨て)

- 企　業：　360,800,000円 (81件)
  - 企業版ふるさと納税：192,600,000円 (31件)
  - 通常の寄附　　：168,200,000円（50件）
- 個人等：　4,772,409円（60件）

＜申請書受取済(未入金)＞　令和8年9月30日時点　※企業のみ

申出額：5,120万円　（2件）

- 企業版ふるさと納税：　51,200,000円　（2件）
- 通常の寄附　　：　　円　（0件）

R８寄附募集委託事業者

1.岡山シーガルズ（株）

2.岡山商工会議所

3.（株）TRYHOOP

4.（株）岡山リベッツ

5.（株）リブ・コンサルティング

資料4

機運醸成の取組について

1．山陽新聞への広告掲載

掲載日　令和８年９月６日（日）　朝刊

概　要　アリーナ整備事業について広く周知し、事業への理解促進と機運醸成のため、「わくわくする日常を創り出すアリーナ」をテーマに一面広告を掲載した。

内　容　アリーナの必要性、効果、財源、これまでの経過等

2．第4回ワークショップの実施

概　要　アリーナの必要性や意義について学ぶとともに、アリーナを「じぶんごと」として捉え、完成後の期待など未来志向で話し合う全5回のワークショップの第4回目を開催した。

日　時　令和8年10月14日(水)　16時～21時

場　所　シゲトーアリーナ岡山

参加者　18名

内　容　テーマ：「現場のリアリティと[使い手]の視点」

・トライフープ岡山の試合直前に「舞台裏」を見学するツアーを開催。

・試合観戦：トライフープ岡山 VS 香川ファイブアローズ【瀬戸内ダービー】

・主な感想：体育館での試合の演出に限界があることがよく分かった。
　　プレミアリーグ基準のアリーナでトライフープ岡山の試合を観戦したい。



▲舞台裏の見学



▲質疑応答



▲試合観戦

3．今後の取組（予定）

・概要版チラシを作成し、イベント等で配布するなど広く広報を行う。

・トップチームの試合会場等でブースを出展し、事業の PR を行う。

・地元大学での講義やサークルとの意見交換など、若い世代の意見や考えを聞くとともに、事業の PR を行う。

わくわくする日常を創り出すアリーナ

岡山市ではアリーナ整備を進めています。アリーナとは、スポーツなどを「する」ことを目的とした体育館と異なり、スポーツやコンサートなどの様々なイベントを「観る・魅せる」ことに特化した、岡山にこれまでなかった施設です。岡山への愛着や誇りを生み出す、新たな一歩へ。私たちと一緒に踏み出しませんか。

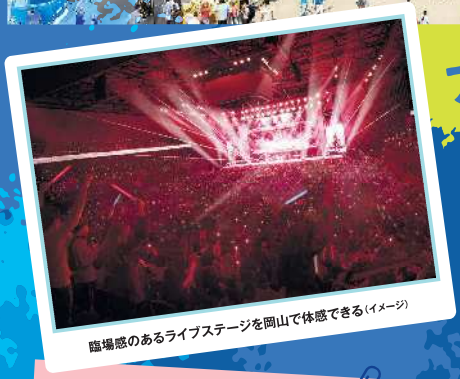

アリーナ外観（イメージ）


展示会（イメージ）


スポーツ利用（イメージ）


サブアリーナ（イメージ）

アリーナができたら？


臨場感のあるライブステージを岡山で体感できる（イメージ）

有名アーティストのライブを岡山で観ることができる!!

スポーツ観戦の体験が変わる!!

展示会や見本市などビジネスの可能性が広がる!!

災害時は北長瀬未来ふれあい総合公園と連携し防災機能強化!!

岡山県内に20年間で2,800億円を超える経済波及効果!!

※年間来場者数見込み約47万人（うち県外から約27万人）


生成AIによるイメージ


生成AIによるイメージ

Voice

アーティストのライブに行きたい!



岡山大学ローターアクトクラブ　会長
和田 唯海さん

私の好きなアーティストを生で見るには広島や大阪に行かないといけません。岡山にアリーナができれば、ハイレベルな設備で様々なアーティストのライブを見ることができ、私たち岡山に住む若者にとって大きな魅力となるはずです。

なぜアリーナ？

慢性的な試合会場の不足

交通利便性と大規模大会開催のキャパシティーを両立できる施設が岡山県総合グラウンド体育館（シゲトーアリーナ岡山）の他になく、プロ・アマチュアのスポーツ団体が会場確保に苦慮しています。

ホームアリーナの施設基準の変更（SVリーグ、Bプレミアリーグ）

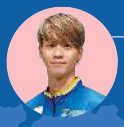
岡山市は、アリーナ競技では、岡山シーガルズ（SVリーグ）、トライフープ岡山（Bリーグ）、岡山リベッツ（Tリーグ）の3つのプロスポーツチームのホームタウンとなっています。現在のホームアリーナ（シゲトーアリーナ岡山）では、最高峰のリーグの求める座席数などの施設基準を満たせず、岡山ではこれらのチームが最高峰のリーグで活動できなくなるという状況に直面しています。


トライフープ岡山
向井 祐介選手

私たちがB.LEAGUE PREMIERに昇格し、活躍する姿を多くの皆さまに新しいアリーナで見届けてほしいと思います。


岡山シーガルズ
キャプテン
長瀬 そら選手

私たちは、アリーナでのプレーを通して、地域の皆さまに喜気や感動を届け、子供たちに夢を与えられる存在を目指します。


岡山リベッツ
田添 響選手兼監督

アリーナでプレーできる日が楽しみです。卓球の国際試合の会場に選ばれるようなものになれば、岡山もさらに盛り上がると思います。


高山産業株式会社
代表取締役社長
高山 晃氏

大型の会議や展示会など地元にとって新しいビジネスや雇用のチャンスが生まれ、街の持続的成長に繋がることを期待しています。

市民の負担は？

- 事業費は、市の一般財源や起債（借金）だけでなく、国からの補助金や企業等からの寄附も活用します。
- 市の財政状況は健全であり、アリーナ整備事業による支出が財政の健全性を損なうことはありません。
- アリーナは、民間事業者による独立採算での運営を前提としており、管理・運営に関し、市からの支出（市民の負担）は想定していません。



【アリーナの概要想定】

【建設計画地】
岡山市北区野田4丁目付近

【客席規模】
7,000～8,000席
（最大収容者数10,000人）

【概算事業費】
約275～280億円（令和7年11月時点）

これまでのアリーナ整備事業の主な歩み

2021（令和3年12月）
経済界等から提言書の提出
北区野田での公設民営によるアリーナ整備を提言

2022（令和4年8月）
基礎調査を実施

2022（令和4年12月）
経済界等から提言書の提出
独立採算による運営と建設に向けた寄附金の活用を提言


事業説明会の様子

2024（令和6年2月）
経済界やプロスポーツチームから建設を求める署名（8万筆超）の提出

2024（令和6年4月）
基本計画を策定

2024（令和6年5月）
経済界から要望書の提出
独立採算を実現するための規模拡大を要望

2024（令和6年8月）
追加調査を実施


ワークショップの様子

2024（令和6年9月～12月）
アンケートを実施
回答数　13,269件→約6割がアリーナに期待と回答

2025（令和7年12月）
アリーナ整備の事業化を決定
議会でアリーナ整備事業関連予算を議決

2026（令和8年1月～4月）
事業説明会を実施
どなたでも自由に参加できる説明会を開催（延べ179名来場）

2026（令和8年3月～）
ワークショップを随時開催
完成後の期待などのテーマに沿って意見を交換
参加者募集中!!

2026（令和8年7月）
住民投票条例の制定を求める直接請求の署名（2万筆超）が提出される

2026（令和8年8月）
アリーナ展示会を開催
事業を広く周知する展示会を地元トップチームと共に開催

事業者選定
設計
建設

2032（令和14年）頃
アリーナ完成予定

市民の皆さまから様々な声をいただきながら、アリーナ計画を進めています。様々なご意見に対し、引き続き丁寧な説明に努めていきます。

お問い合わせ｜岡山市 スポーツ振興課 アリーナ整備推進室
岡山市北区大供一丁目1番1号
TEL.086-803-1617

最新情報はこちら